

# 東京計器株式会社

## 2019年3月期 第3四半期 決算補足説明資料

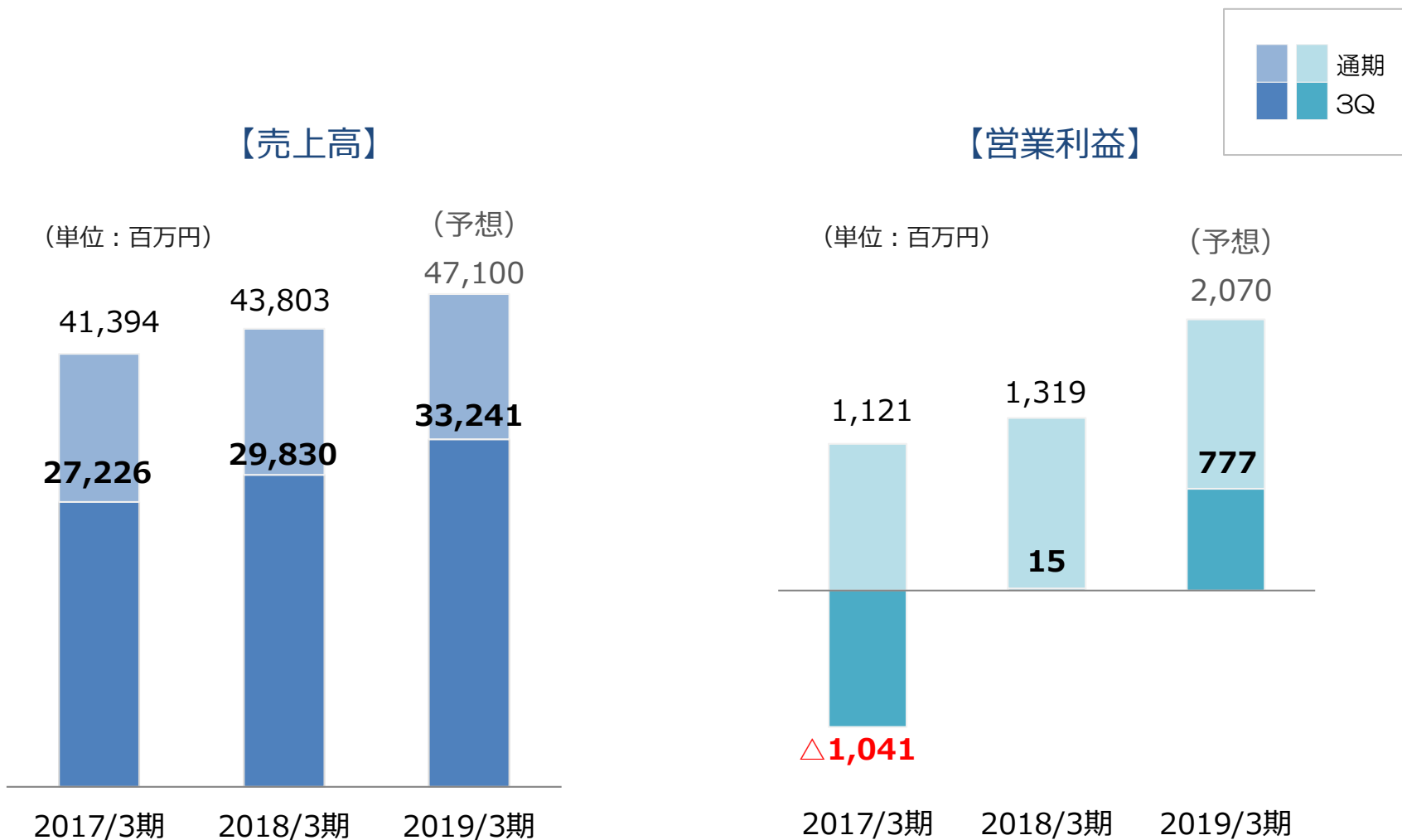
2019年2月12日（火）

本説明資料に記載された将来に係る事項は公表時点で入手可能な情報を踏まえて弊社経営陣が想定したものです。従って、今後の事業環境等により差異が生じることもありますので、ご承知置さください。

## 2019年3月期 第3四半期 決算サマリー

- ◆ 前年同期比では、全ての事業セグメントで増収・増益
- ◆ 船舶港湾機器事業では、海外市場で受注、売上共に大きく増加
- ◆ 通期連結業績予想では、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益をいずれも上方修正

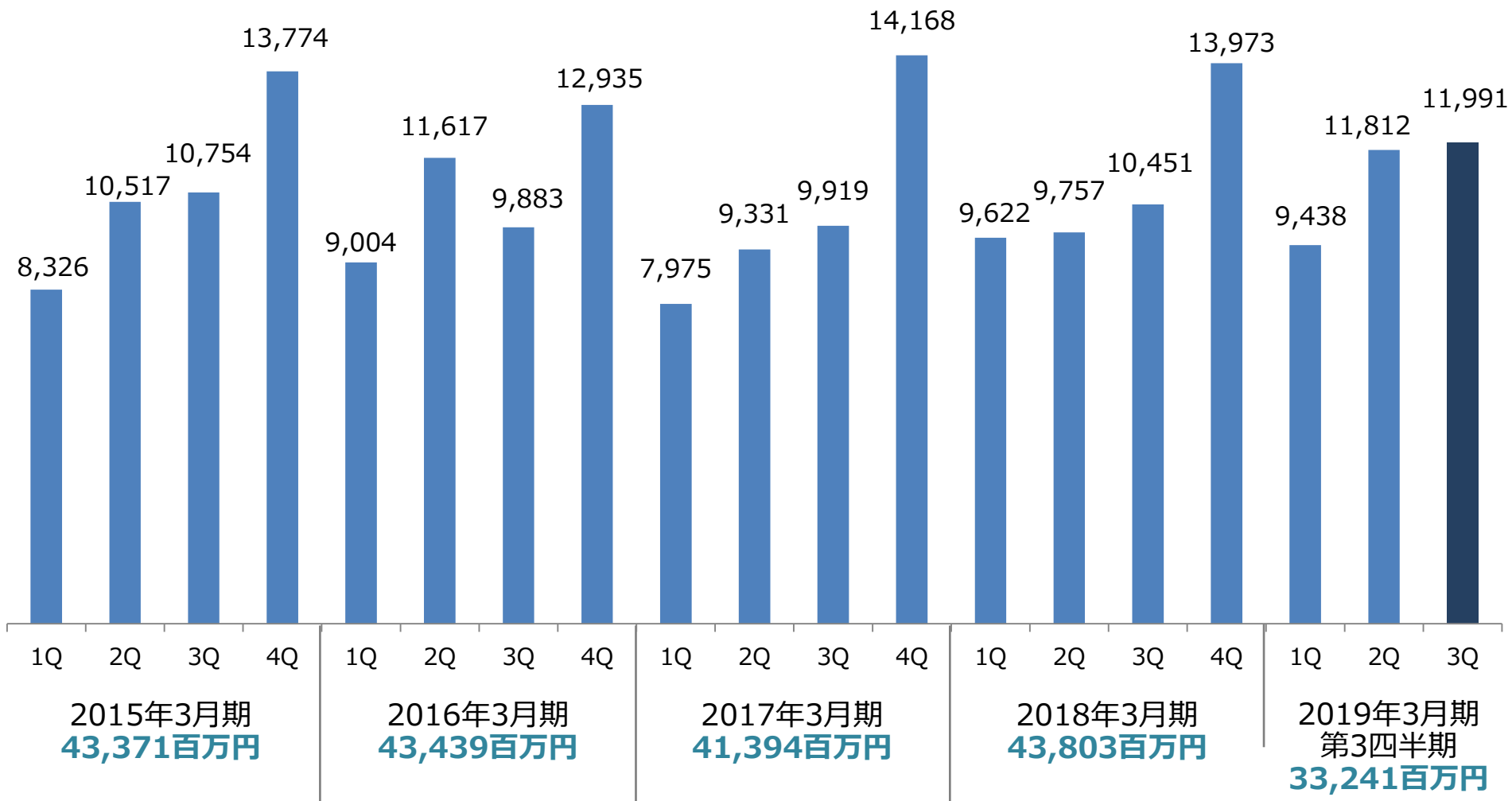
### 第3四半期 連結損益の推移



※2019年2月12日発表の「平成31年3月期 第3四半期決算短信」にて通期業績予想を修正いたしました。

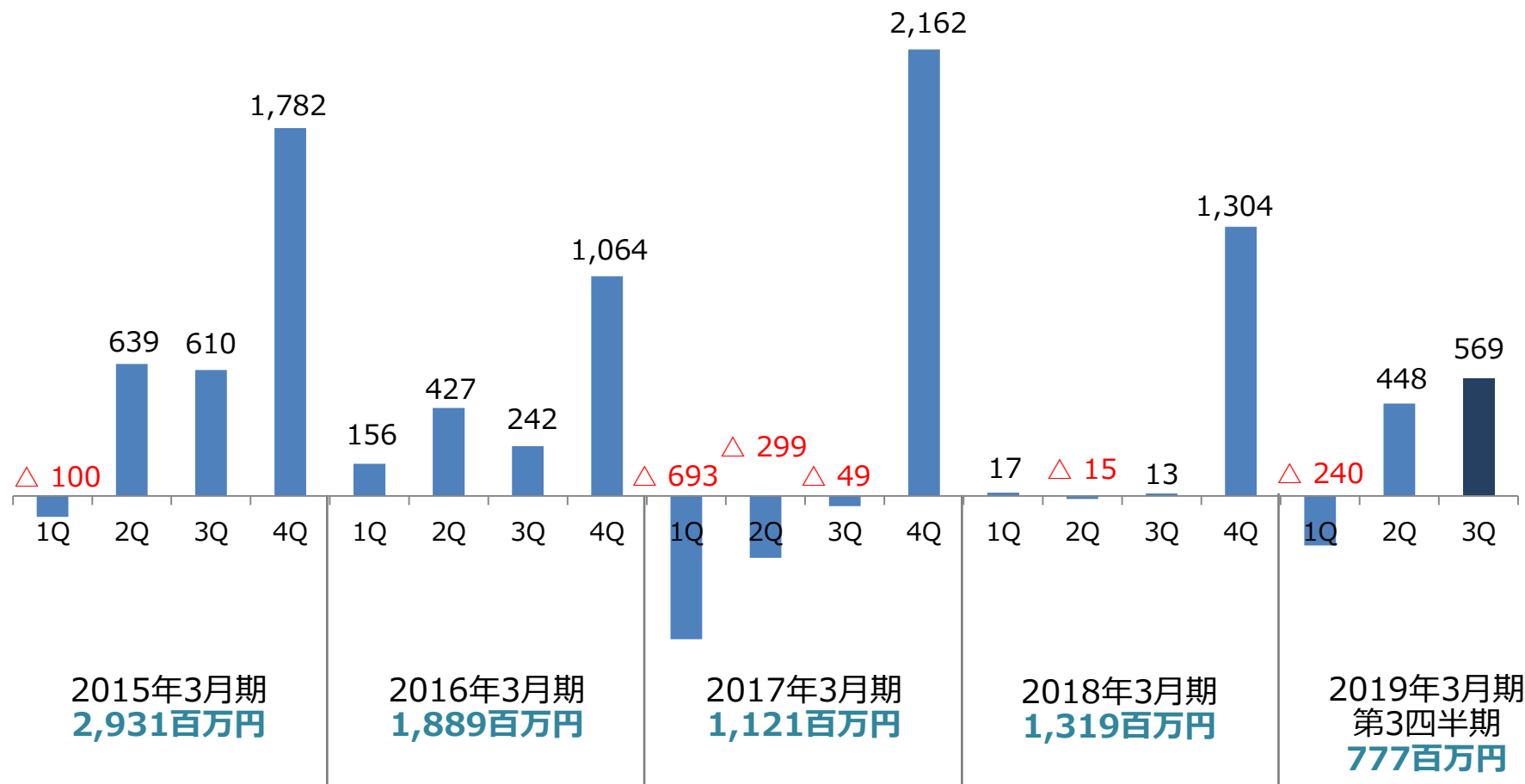
### 四半期 連結売上高推移

(単位：百万円)



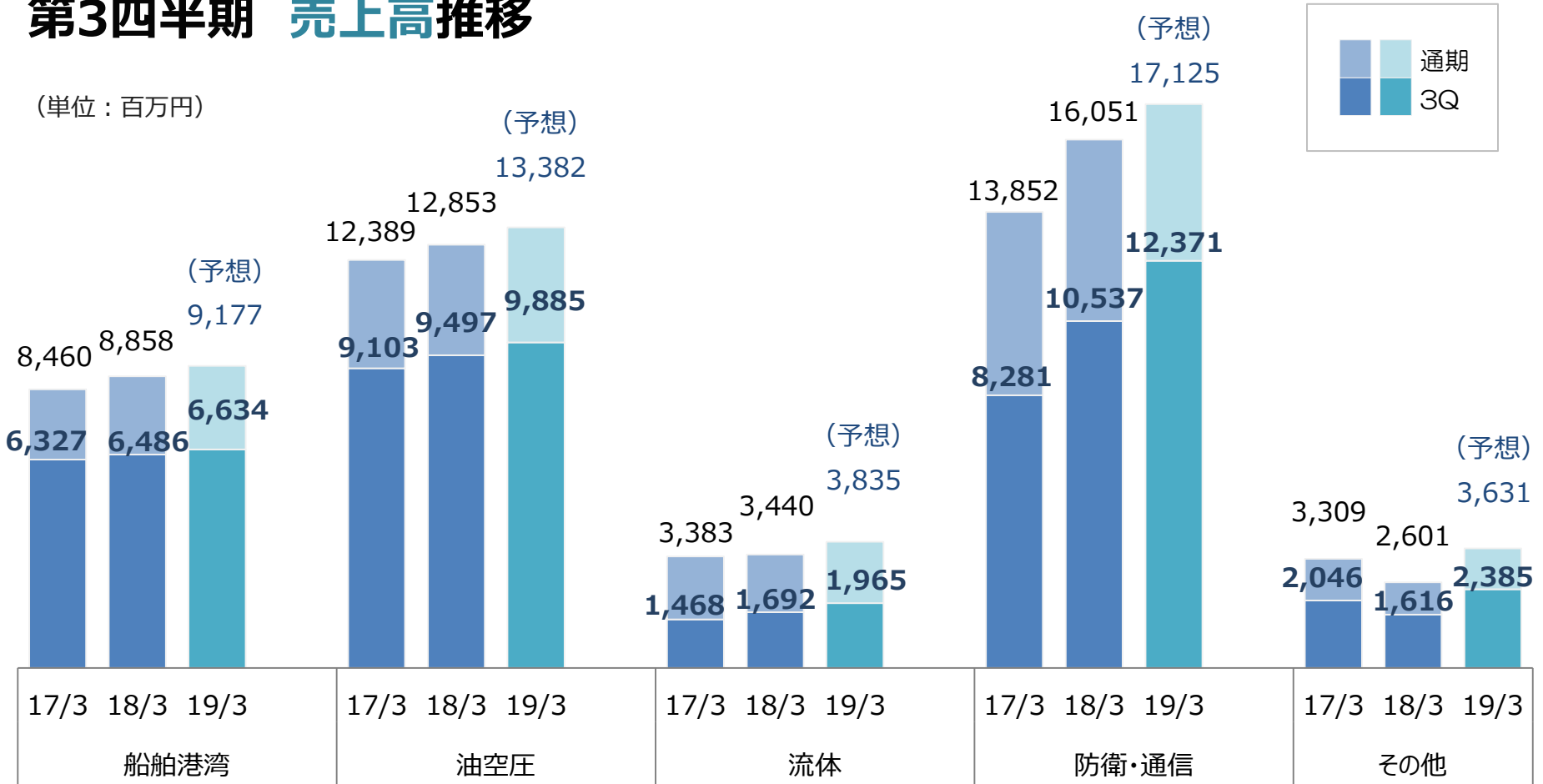
### 四半期 連結営業利益推移

(単位：百万円)



### セグメント別 第3四半期 売上高推移

(単位：百万円)



※数値は調整前売上高

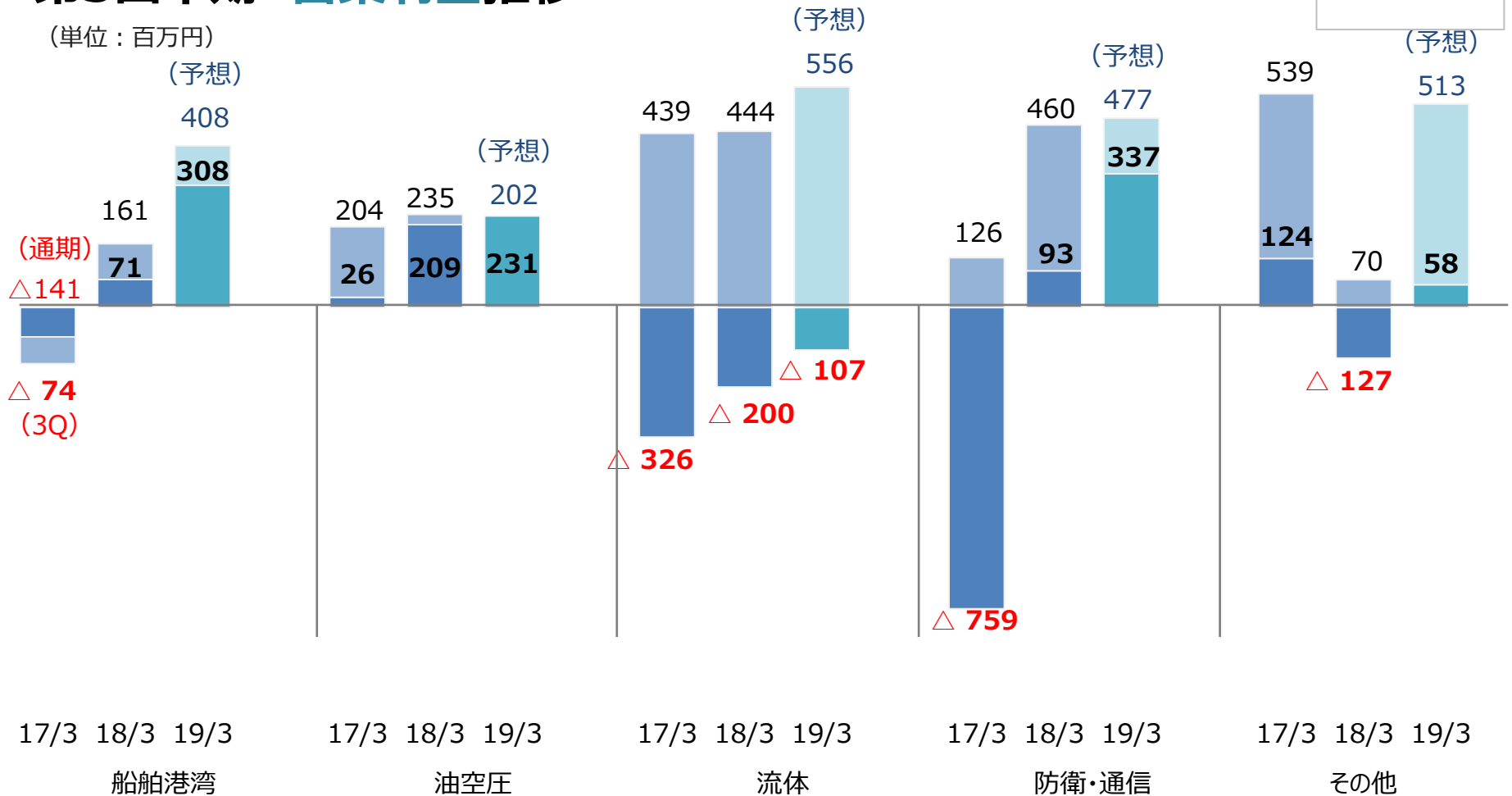
※2019年3月期より“防災機器事業”は“消火設備市場”として「その他の事業」から「流体機器事業」セグメントに移行しております。  
上記の2017年3月期、2018年3月期の売上高はセグメント組替え後のものとなっております。

※2019年2月12日発表の「平成31年3月期 第3四半期決算短信」にて通期業績予想を修正いたしました。

## 2. 業績推移

### セグメント別 第3四半期 営業利益推移

(単位：百万円)



※数値は調整前営業利益

※2019年3月期より「防災機器事業」は「消火設備市場」として「その他の事業」から「流体機器事業」セグメントに移行しております。

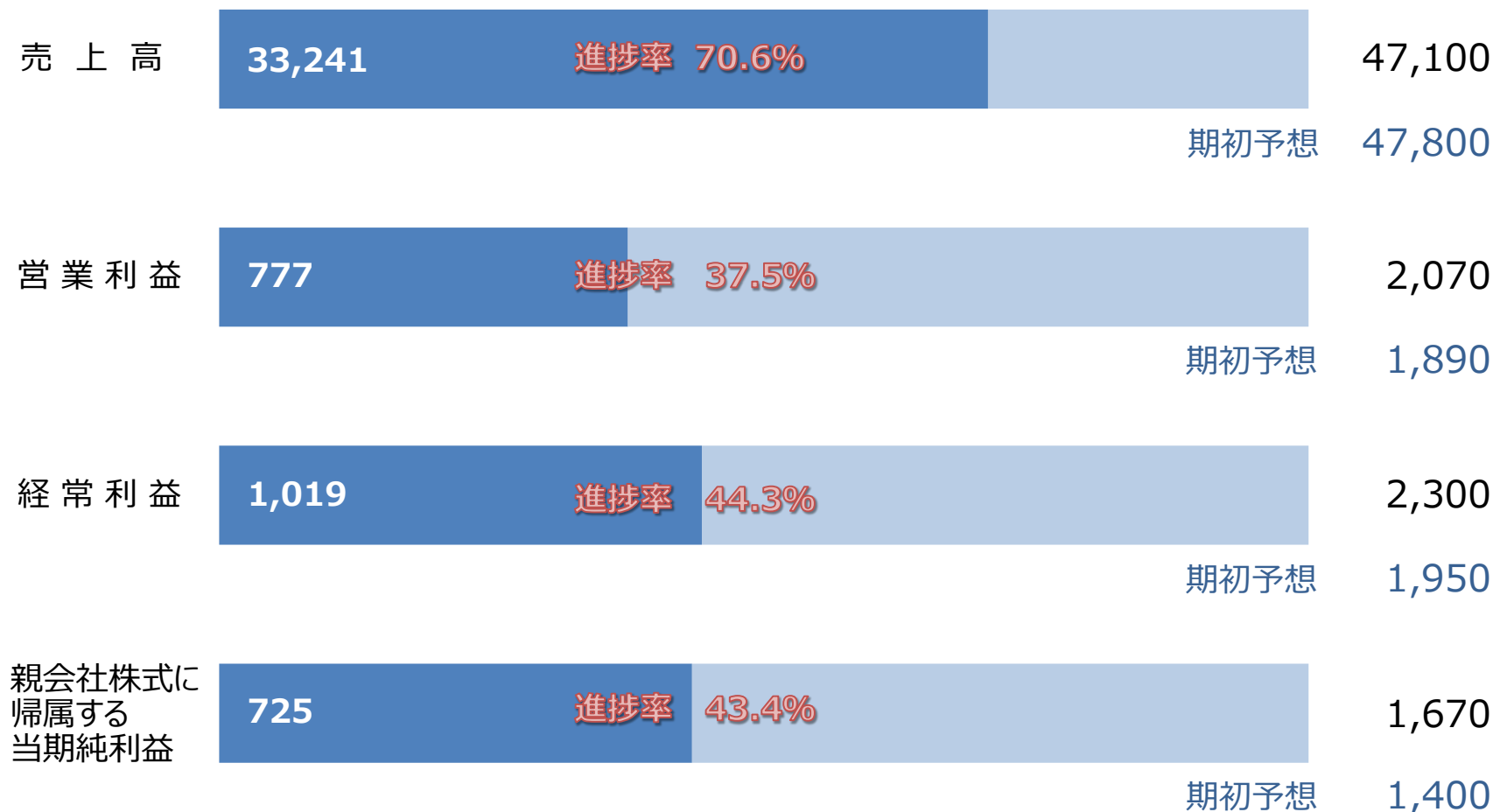
上記の2017年3月期、2018年3月期の営業利益はセグメント組替え後のものとなっております。

※2019年2月12日発表の「平成31年3月期 第3四半期決算短信」にて通期業績予想を修正いたしました。

## 第3四半期の進捗状況

(単位：百万円)

通期業績予想



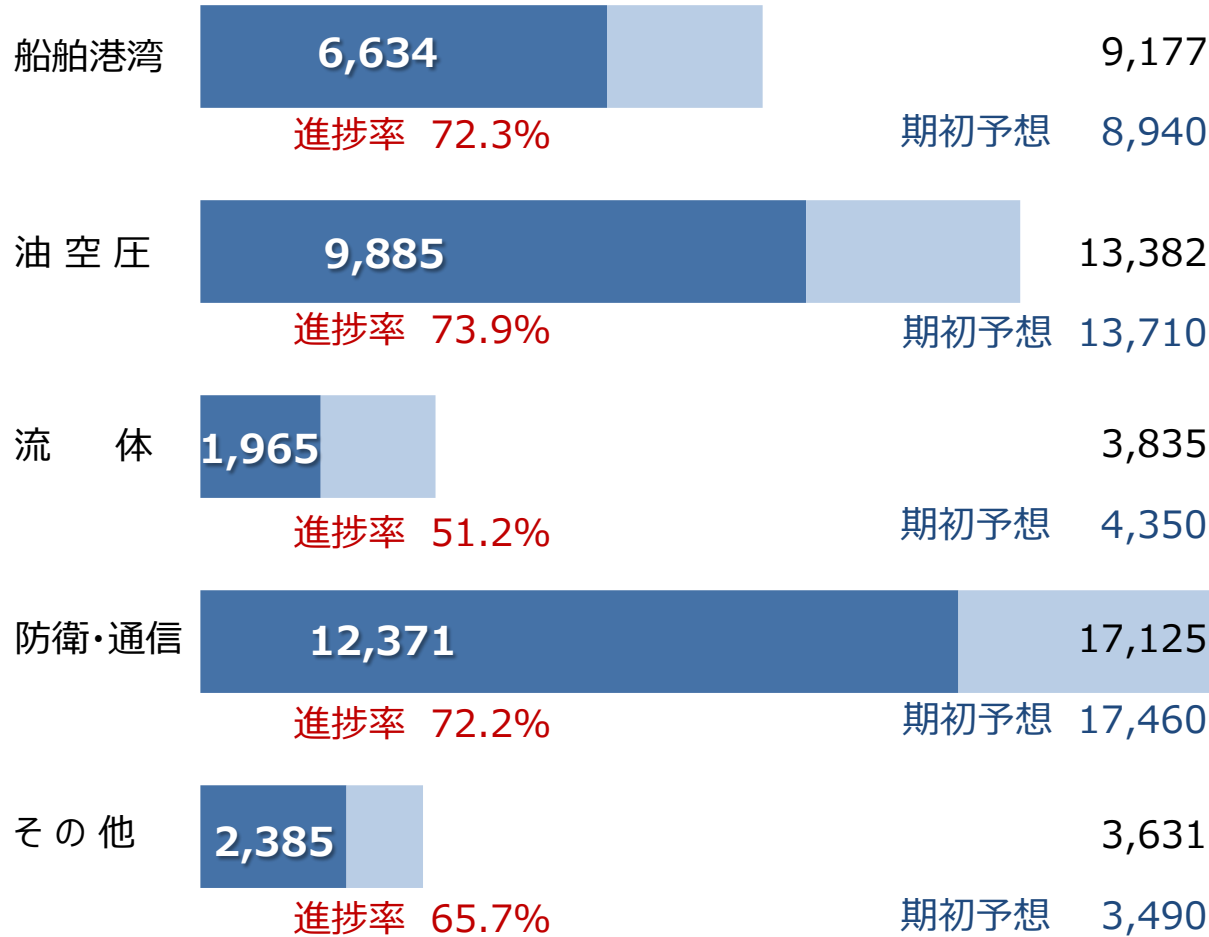
※2019年2月12日発表の「平成31年3月期 第3四半期決算短信」にて通期業績予想を修正いたしました。



## セグメント別 売上高進捗状況

(単位：百万円)

通期業績予想



・通期予想は、海外の新造船向け販売及び欧州向けOEMジャイロコンパスの販売が伸びる見込みであることから、期初予想に比べて増収の見込み

・通期予想は、工作機械市場が好調であるものの、海外市場の低迷が継続する見込みであることから、期初予想に比べ減収の見込み

・通期予想は、民需・海外両市場が軟調に推移する見込みであることから、期初予想に比べ減収の見込み

・通期予想は、民需市場において半導体製造装置向け機器の納入が来期以降に繰り延べされたことなどから、期初予想に比べ減収の見込み

・通期予想は、鉄道機器事業における機器販売及び役務作業の計画外受注の殆どを当期中に売上げることから、期初予想に比べて増収の見込み

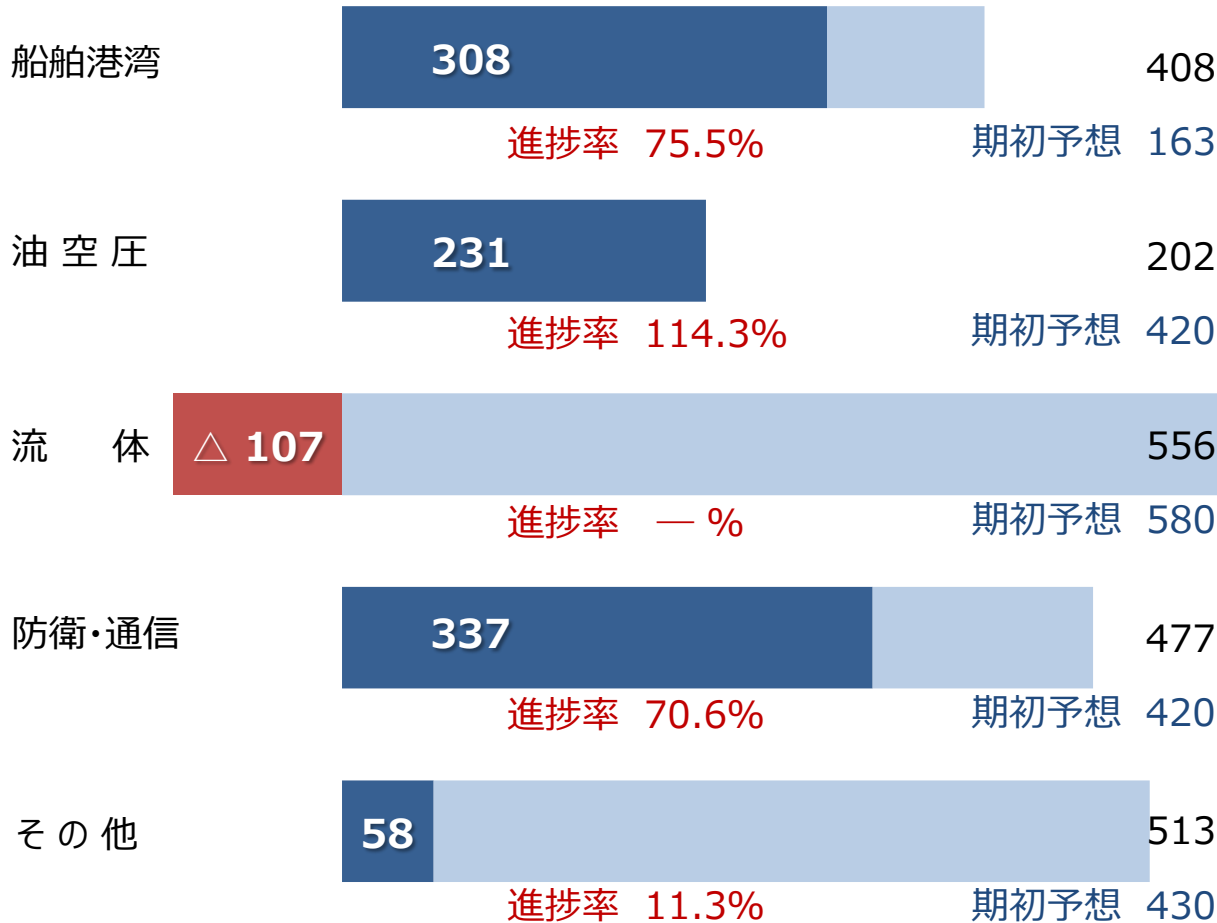
※数値は調整前売上高

※2019年2月12日発表の「平成31年3月期 第3四半期決算短信」にて通期業績予想を修正いたしました。

## セグメント別 営業利益進捗状況

(単位：百万円)

通期業績予想



・通期予想は、期初予想に比べ増収となる見込みであることに加え、経費の削減が進んだことから、増益の見込み

・通期予想は、製品ミックスの変化で原価率が悪化することなどから、期初予想に比べ減益の見込み

・通期予想は、期初予想に比べ減収となる分、減益となる見込み

・通期予想は、期初予想に比べ減収となるものの、製品ミックスの変化による原価率の好転により、増益の見込み

・通期予想は、鉄道機器事業での計画外受注があったことなどから、期初予想に比べ増益の見込み

※数値は調整前営業利益

※2019年2月12日発表の「平成31年3月期 第3四半期決算短信」にて通期業績予想を修正いたしました。

## 4. 受注・受注残の状況

(単位:百万円)	2019年3月期3Q 受注高		2019年3月期3Q末 受注残高		
	金額	前年同期比	金額	前期末比	前年同期比
船舶港湾	7,144	+9.4%	3,246	+18.6%	+6.2%
油空圧	10,082	+3.1%	3,048	+7.1%	+4.7%
流体	3,202	+18.8%	1,952	+173.1%	+9.3%
防衛・通信	13,884	+14.8%	20,900	+7.8%	+1.8%
<b>報告セグメント合計</b>	<b>34,312</b>	<b>+10.3%</b>	<b>29,146</b>	<b>+13.5%</b>	<b>+3.1%</b>
その他	2,497	+20.0%	1,206	+10.2%	△14.8%
<b>合計</b>	<b>36,810</b>	<b>+10.9%</b>	<b>30,352</b>	<b>+13.3%</b>	<b>+2.2%</b>

※2019年3月期より「防災機器事業」は「その他の事業」から「流体機器事業」セグメントに移行しております。

- ◆ 船舶港湾機器事業は、海外市場の受注が大幅に増加
- ◆ 流体機器事業は、官需市場にて危機管理型水位計の受注が好調に推移
- ◆ 防衛・通信機器事業は、レーダー警戒装置の量産受注の数量増により増加、受注残は依然として高水準を維持

## 5. 連結貸借対照表（主要な勘定科目のみ）

（資産の部）

（負債・純資産の部）

（単位：百万円）	2018年 3月期	2019年3月期 第3四半期	増減額	（単位：百万円）	2018年 3月期	2019年3月期 第3四半期	増減額
<b>流動資産</b>	<b>45,273</b>	<b>43,996</b>	<b>△1,277</b>	<b>流動負債</b>	<b>20,580</b>	<b>19,150</b>	<b>△1,430</b>
現金預金	9,828	9,009	△819	支払手形・買掛金	7,467	7,112	△355
受取手形・売掛金	15,458	12,959	△2,499	短期借入金	8,815	8,787	△29
電子記録債権	2,740	3,744	+1,004	賞与引当金	1,110	586	△525
棚卸資産	16,504	17,599	+1,095	その他	3,187	2,666	△521
その他	745	688	△57	<b>固定負債</b>	<b>9,041</b>	<b>8,700</b>	<b>△341</b>
貸倒引当金	△2	△2	△1	長期借入金	7,397	7,161	△236
<b>固定資産</b>	<b>12,772</b>	<b>12,179</b>	<b>△593</b>	<b>負債合計</b>	<b>29,620</b>	<b>27,850</b>	<b>△1,771</b>
有形固定資産	7,524	7,263	△261	<b>株主資本</b>	<b>26,617</b>	<b>27,011</b>	<b>+394</b>
無形固定資産	1	0	△1	利益剰余金	19,923	20,317	+395
投資その他の資産	5,247	4,916	△331	<b>純資産合計</b>	<b>28,425</b>	<b>28,325</b>	<b>△100</b>
<b>資産合計</b>	<b>58,045</b>	<b>56,175</b>	<b>△1,870</b>	<b>負債純資産合計</b>	<b>58,045</b>	<b>56,175</b>	<b>△1,870</b>

- ◆ 棚卸資産は、防衛・通信機器事業のレーダー警戒装置等の大型案件は順調に受注が増加しており、今後の納入計画に備えて依然高水準で推移しているほか、売上が期末に偏重している流体機器が増加

## 6-2.株主還元の実策について

【基本的な考え】

財務基盤とのバランスを図りながら、安定的な株主還元を実施。

## 過去5年間の配当金の推移と2019年3月期の予想

	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期 (予想)
年間配当金 (円 銭)	4.50	4.50	5.00 (普4 + 記1)	4.00	20.00	25.00
配当性向 (連結) (%)	15.9	16.3	33.2	46.8	29.6	24.7
総還元性向 (連結) (%)	19.4	19.9	39.8	46.8	37.1	—

※2017年3月期以前については、株式併合前の配当額 (1/5)

最近の自己株式の取得状況

2011年8月に実施、取得した株式数は130万株、取得価額は165百万円

2014年5月に実施、取得した株式数は31万株、取得価額は84百万円

2015年5月に実施、取得した株式数は30万株、取得価額は84百万円

2015年11月に実施、取得した株式数は33.5万株、取得価額は84百万円

2017年11月に実施、取得した株式数は5.8万株※、取得価額は85百万円

※2017年11月実施分については株式併合後の株式数

**TOKYO**  
**KEIKI**